

## 取手駅から歩いて行ける文化財

取手駅の周辺にある4件の指定文化財を紹介します。アクセス抜群な、歴史と文化に触れることができる、魅力的な文化財に訪れてみましょう。

※時間は、歩くペースや歩幅によって変わります。



### ①長禅寺三世堂

取手駅から徒歩約5分。三世堂は享和元年(1801年)建築と推定される建物です。外観は二層になっていますが、内部は三層に分かれていて、100体の観音像が安置されています。また、長禅寺は平将門が創建したと伝えられ、水戸市の偕楽園や、牛久市にある牛久沼などと並び茨城百景に選ばれています。



**Point**  
御開帳(4月18日)時は堂内の見学ができます。交差せず回れる「さざえ堂」様式で、この様式の建物は全国で5棟しか残っていないとされています。



### ②旧取手宿本陣 染野家住宅

取手駅から徒歩約8分。寛政7年(1795年)の建築で、水戸街道に現存する3棟の本陣建築の中では、建築年代が最も古く、規模は最大となっています。敷地内には、主屋や土蔵、表門、徳川齊昭の歌碑などもあり、旅人が街道を行き交った江戸時代の雰囲気を感じることが出来ます。



**Point**  
上段の間は、大名などが使う部屋で、床が20cm高くなっています。大名が使うときには、天井と床下に家来が潜み警護していたと言われています。



### ③八坂神社 本殿・拝殿

取手駅から徒歩約12分。本殿は明治39年(1906年)、拝殿は天保3年(1832年)に建立された指定文化財です。本殿の精巧な彫刻は、笠間稲荷神社内の彫刻を手がけた後藤縫殿之助などが携っており、後藤をはじめとした職人たちの装飾技術の高さが評価され、指定文化財となりました。



**Point**  
八坂神社には、バスが描かれた豊漁祈願の絵馬や、実際にルアーでおみくじを釣ることができる「バスみくじ」があり、釣り好き必見のスポットにもなっています。



### ④本多作左衛門重次墳墓

取手駅から徒歩約15分。徳川家康の祖父の代から仕えた徳川家の重臣である本多作左衛門重次のお墓。本多重次は、天下人となった豊臣秀吉の怒りにふれ、家康からは、外出が禁じられる刑罰を命じられ、そのまま許されることなく取手の地で亡くなりました。



**Point**  
墳墓を管理する本願寺には、重次が書いた日本一短いとされる手紙「一筆啓上 火の用心 お仙泣かずな馬肥やせ」の文章が刻まれた石碑があります。

## 市内には他にこんな文化財も



#### 竜禅寺三仏堂

平将門が生まれた地との伝説がある、室町時代の建造物。



#### 地藏ケヤキ (高源寺)

樹齢1600年のケヤキの大木。お地藏様が祭られている。



#### 木造阿弥陀如来坐像 (金仙寺)

仏像では、市内唯一の指定文化財。



文化財など、取手市内の秋の様子を動画で紹介しています。

